

忘れられない「河童」のスタート公演

ガ太郎 寺西結歌姫

『瓶が森の河童』の台本、資料をいただいてすぐ、私は小六やチエと似たような体験をしました。

もちろん河童は出てきません（いや、どこかに隠れていたのかも…）

実は父が5月にくも膜下出血で倒れました。

東京から必死の思いで広島に帰り、長女である私は、怖い思い、悲しい気持ちをぐっところえ、『しっかりしないと！』という気持ちでその一週間毎日、家事、母や妹の精神的ケアなど家族を支えながら、必死に父の看病に向かいました。

一週間持ちこたえたのですが、意識が戻らないまま亡くなりました。

3ヶ月後の8月、私は結婚しました。父に花嫁姿を見せられなかった想いは、チエの気持ちに重なります。

婆っばの台詞にあります。『河童には人の気持ちが見えるんだよ！』

まさにその通り、ガ太郎を演じながら小六とチエの気持ちが伝わってくる。

ガ太郎の台詞『こいつの気持ちなんか見え見えよう！』状態で、忘れられない「河童」のスタート公演となりました。

サポーターの皆様、お客様、お手伝い頂いた学生さんなど、多くの方に支えていただきながらミュージカルカンパニーふるきやらの再出発を喜ぶ全員で作った舞台だと思っています！

本当にありがとうございました♪

下の写真、向かって右…ガ太郎、
左…シバテン

